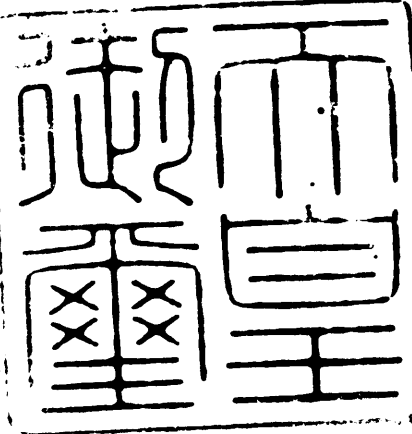


法律第七十六號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル軍馬資源保護法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十四年四月六日

月

日

内閣總理大臣男爵 平沼騏一郎  
 内務大臣 侯爵 木戸幸一  
 陸軍大臣 板垣征四郎  
 大藏大臣 石渡花中郎  
 農林大臣 樽内幸雄

法律第七十六號

軍馬資源保護法

第一條 本法ハ國防上特に必要トスル馬ノ資質ノ向上ヲ圖リ軍馬資  
 源ノ充實ヲ期スルコトヲ目的トス  
 第二條 政府ハ軍馬タルベキ資質アル馬ヲ選定スル爲命令ノ定ムル  
 所ニ依リ毎年馬ノ檢定ヲ行ヒ之ニ合格シタルモノヲ軍用保護馬ニ  
 指定スルコトヲ得  
 市町村長ハ前項ノ檢定ニ立會ヒ又ハ當該市町村ノ吏員ヲシテ之ニ  
 立會ハシムベシ  
 第三條 政府ハ前條第一項ノ檢定ヲ受クル者ニ對シ勸令ノ定ムル所  
 ニ依リ手當及旅費ヲ給ス

第四條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ軍用保護馬ヲ飼養スル者ニ對シ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第五條 軍用保護馬ノ所有者其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ハ其ノ軍用保護馬ニ付本法ノ定ムル鍛鍊ヲ受ケシムルコトヲ要ス

第六條 本法ニ依ル軍用保護馬ノ鍛鍊ハ普通鍛鍊及鍛鍊競技トシ政府之ヲ管理ス

普通鍛鍊ハ軍馬トシテ必要ナル能力及馴養ノ向上維持ヲ圖ルコトヲ目的トス

鍛鍊競技ハ普通鍛鍊ヲ受ケタル軍用保護馬ノ能力及馴致ヲ審査シ併セテ軍馬ノ性質ニ關スル知識ノ普及ヲ圖ルコトヲ目的トス

第七條 普通鍛鍊ノ事業ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官之ヲ行フ

市町村長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ普通鍛鍊ニ關スル事務ノ一部ヲ行フ

普通鍛鍊ノ施行ニ因リ軍用保護馬死亡シ又ハ傷害ヲ受ケタルトキハ政府ハ助金ノ定ムル所ニ依リ補償金ヲ交付ス

第八條 鍛鍊競技ハ命令ノ定ムル所ニ依リ北海道、府縣、畜産組合聯合會、畜産組合其ノ他政府ノ指定スル團體ヲシテ之ヲ行ハシム

鍛鍊競技ニシテ優等馬ノ投票ニ關スル施設ヲ作フモノ（以下鍛鍊馬競走ト稱ス）ヲ行フコトヲ得ル者ハ命令ヲ以テ定ムル畜産組合聯合會又ハ道府縣ノ區域ニ依ル畜産組合其ノ他政府ノ指定スル法人ニシテ鍛鍊馬場ニ付政府ノ許可ヲ受ケタルモノニ限ル

鍛鍊馬競走ヲ行フコトヲ得ル鍛鍊馬場ノ數ハ一府縣一箇所以内、

北海道三箇所以内トス

鍛錬馬競走ノ施行ハ鍛錬馬場毎ニ年二回以内トシ其ノ期間ハ毎回四日以内トス

第九條 鍛錬競技ニハ勅令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ノ指定シタル軍用保護馬ニ非ザレバ出場セシムルコトヲ得ズ

第十條 鍛錬馬競走ノ施行者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ入場者ヨリ入場料ヲ徴收スベシ

鍛錬馬競走ノ施行者ハ鍛錬馬場ニ於テ入場者ニ對シ額面金額三圓以下ノ優等馬票ヲ額面金額ヲ以テ發行スルコトヲ得

優等馬票ノ發行ハ鍛錬馬競走一競技ニ付一人一枚ヲ限り申式優等馬票及複式優等馬票ヲ發行スル場合ニ於テハ鍛錬馬競走一競技ニ

付一人各一枚ヲ限ル

優等馬票ハ之ヲ濫渡スコトヲ得ズ

學生生徒父ハ未成年者ニ對シ優等馬票ヲ發行スルコトヲ得ズ

當該鍛錬馬競走ニ於ケル勅令ヲ以テ定ムル施行委員父ハ當該鍛錬馬競走ニ關スル騎乗者其ノ他鍛錬馬競走ノ事務ニ従事スル者ニ對シ亦前項ニ同ジ

鍛錬馬競走ノ施行者ハ優等馬票ノ的中者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ當該競技ニ付テノ優等馬票ノ發行ニ依リ得タル金額ヲ額面金額ノ十倍ヲ超ユルコトヲ得ズ

優等馬票ノ的中者無キ場合ニ於ケル優等馬票ノ發行ニ依リ得タル

ル金額又ハ前項但書ノ規定ニ依リ生ジタル超過金ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ優等馬票ヲ購買シタル者ニ拂戻スベシ  
前二項ノ拂戻金ノ債權ハ一年間之ヲ行ハザルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第十一條 鍛鍊馬競走ノ施行者優等馬票ヲ發行シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ發行ニ依リ得タル金額ノ百分ノ二十五以内ノ金額ヲ收得スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ鍛鍊馬競走ノ施行者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ納付金ヲ軍用保護馬鍛鍊中央會ニ納付スベシ  
前項ノ納付金ハ軍用保護馬鍛鍊中央會ノ目的ヲ達スル爲必要ナル經費ニ充ツルコトヲ要ス

鍛鍊馬場ノ開設又ハ維持、競走ノ觀覽、優等馬票ノ發行又ハ購買、拂戻金又ハ賞金ノ交付又ハ受領其ノ他鍛鍊馬競走ノ施行又ハ開催ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

第十二條 軍用保護馬鍛鍊中央會ハ法人トシ鍛鍊競技ノ健全ナル發達ヲ圖リ以テ軍用保護馬ノ能力及馴致ノ向上ニ資スルト共ニ軍馬ノ資質ニ關スル知識ノ普及ヲ期スルコトヲ目的トス  
軍用保護馬鍛鍊中央會ハ全國ヲ通ジ一箇トシ第八條第二項ノ許可ヲ受ケタル者ヲ以テ之ヲ組織ス

軍用保護馬鍛鍊中央會成立シタルトキハ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ會員トス

第十三條 政府ハ軍用保護馬鍛鍊中央會ノ保有スル資金ガ命令ヲ以

テ定ムル額ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ヲ政府ニ納付セシムルコトヲ得。

前項ノ規定ニ依ル納付金ハ國稅滯納成分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次グモノトス

第十四條 軍用保護馬鍛鍊中央會ニハ所得稅及營業收益稅ヲ課セズ  
軍用保護馬鍛鍊中央會ガ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登録稅ヲ課セズ

第十五條 本法ニ定ムルモノノ外軍用保護馬鍛鍊中央會ノ設立、登記、管理、監督、解散、清算其ノ他軍用保護馬鍛鍊中央會ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 行政官廳ハ鍛鍊蹄技ノ施行者ニ對シ鍛鍊蹄技ノ施行ニ關

シ監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條 政府ハ鍛鍊馬競走ノ施行者又ハ軍用保護馬鍛鍊中央會ニ對シ鍛鍊蹄技ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲ニ必要ナル施設ヲ命ズルコトヲ得

第十八條 政府ハ鍛鍊馬競走ノ施行者又ハ其ノ役員若ハ施行委員ノ行爲ガ法令若ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 第八條第二項ノ許可ノ取消
- 二 鍛鍊馬競走ノ停止
- 三 優等馬票發行ノ停止又ハ制限
- 四 施行委員ノ職務執行ノ停止

第十九條 軍用保護馬ハ政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸出シ又ハ移出スルコトヲ得ズ第二條第一項ノ檢定ニ合格シタル馬ニ付命令ヲ以テ定ムル期間内亦同ジ

第二十條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ毎年軍用保護馬ノ檢査ヲ行ヒ之ニ合格セザルモノニ付軍用保護馬ノ指定ヲ取消スコトヲ得

第二條第二項ノ規定ハ前項ノ檢査ニ之ヲ準用ス

第二十一條 政府ハ第二條第一項ノ檢定又ハ前條第一項ノ檢査ノ爲必要アリト認ムルトキハ區域及期間ヲ指定シ馬ノ移動ヲ制限スルコトヲ得

第二十二條 本法ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル馬ニ付之ヲ適用セズ  
一 當歳ノモノ又ハ明ケ十八歳以上ノモノ

二 國又ハ道府縣ノ所有ニ係ルモノ

三 前二號ノ外命令ヲ以テ定ムルモノ

第二十三條 軍用保護馬ガ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ軍用保護馬ノ指定ハ其ノ效力ヲ失フ

一 明ケ十八歳ニ達シタルトキ

二 輸出又ハ移出セラレタルトキ

三 國又ハ道府縣ノ所有ト爲リタルトキ

四 前三號ノ外命令ヲ以テ定ムル場合

第二十四條 市町村長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ノ各號ノ一ニ該當スル馬ニ付馬籍ニ其ノ旨記載スベシ

一 第二條第一項ノ檢定ニ合格シタルモノ

二 軍用保護馬ニ指定セラレタルモノ又ハ軍用保護馬ノ指定ヲ取消サレタルモノ若ハ其ノ指定ノ效力ヲ失ヒタルモノ

第二十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役若ハ五千圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ其ノ刑ヲ併科ス

一 鍛鍊競技ニ關シ第八條第二項ノ許可ヲ受ケズシテ博等馬票ヲ發行シ又ハ之ニ類似ノ行爲ヲ爲シタル者

二 第十八條第三號ノ停止又ハ制限ニ違反シ博等馬票ヲ發行シタル者

三 鍛鍊競技ニ關シ當習トシテ多數ノ者ニ對シ財物ヲ以テ賭事ヲ爲シタル者

四 第十條第六項ニ掲グル者ニシテ前號ニ規定スル行爲ノ相手方

ト爲リタルモノ

第二十六條 鍛鍊馬競走ノ施行委員鍛鍊馬競走ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シテ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

團體若ハ多衆ノ威力ヲ示シ、團體若ハ多衆ヲ假裝シテ威力ヲ示シ又ハ兇器ヲ示シ若ハ數人共同シテ前項ノ罪ヲ犯シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條 第十九條ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第九條ノ規定ニ違反シ同條ニ規定スル軍用保護馬ニ非ザル馬



ヲ鍛錬競技ニ出場セシメタル者

二 第十條第二項又ハ第三項ノ規定ニ依ル制限ニ違反シ優等馬票ヲ發行シタル者

三 第十條第五項又ハ第六項ノ規定ニ違反シ優等馬票ヲ發行シタル者

四 第十條第六項ニ掲グル者ニシテ優等馬票ヲ購買シタルモノ

五 第十條第七項ノ規定ニ依ル制限ニ違反シ拂戻金ヲ交付シタル者

六 第二十五條第一號乃至第三號ノ一ニ規定スル行爲ノ相手方ヲ偽リタル者

第二十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料

ニ處ス

一 第十條第二項又ハ第三項ノ規定ニ依ル制限ニ違反シ優等馬票ヲ購買シタル者

二 第十條第五項ニ掲グル者ニシテ優等馬票ヲ購買シタルモノ

三 優等馬票ヲ濫用シ又ハ譲受ケタル者

四 第十條第十項ノ規定ニ依ル制限ニ違反シタル拂戻金ノ交付ヲ受ケタル者

第三十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第二條第一項ノ規定、第七條第一項ノ普通鍛錬又ハ第二十條第一項ノ検査ニ應ゼザル者

二 第二條第一項ノ檢定、第七條第一項ノ普通鍛鍊又ハ第二十條

第一項ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

三 第二十一條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シタル者

第三十一條 軍田保護馬鍛鍊中央會ノ役員又ハ鍛鍊馬競走ノ施行委員ガ其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第三十二條 前條第一項ニ堪グル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第三十三條 法律ノ規定ニ依ラザル馬ノ逃走ニ關シ後等馬票、勝馬投票券若ハ之ニ類似ノモノヲ發賣シ又ハ之ニ類似ノ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ五千圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ其ノ刑ヲ併科ス

第三十四條 法人又ハ人ノ代理人、店主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第二十七條又ハ第三十條第一號若ハ第三號ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ法人又ハ人ハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第三十五條 第二十七條前ニ第三十條第一號及第三號ノ罰則ハ其ノ

者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル  
役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ  
適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付  
テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十六條 前二條ノ場合ニ於テハ懲役ノ刑ニ處スルコトヲ得ズ

第三十七條 鍛鍊競走ノ施行者又ハ鍛鍊馬競走ノ施行委員第十六條、  
第十七條又ハ第十八條第四號ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令ニ違反  
シタルトキハ千圓以下ノ過料ニ處ス

軍用保護馬鍛鍊中央會ノ役員第十五條ノ規定ニ依ル勅令又ハ第十  
七條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ過料ニ處ス  
非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二項ノ過料

ニ之ヲ準用ス

第三十八條 本法ニ於テ市町村又ハ市町村長トアルハ市制第六條ノ  
市及市制第八十二條第三項ノ市ニ在リテハ區又ハ區長トシ町村制  
ヲ施行セザル地ニ在リテハ町村又ハ町村長ニ準ズベキモノトス

#### 附 則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
軍用保護馬鍛鍊中央會ハ本法公布ノ日ニ於テ現ニ優勝馬投票ニ依リ  
景品券ヲ發行スル時馬施行ノ許可ヲ受ケ居ル畜産組合聯合會又ハ畜  
産組合ガ第三十三條ノ規定ノ施行ニ關聯シ當該競馬場ニ付爲ス設備  
ノ處分其ノ他ノ整理ニ關シ勅令ノ定ムル所ニ依リ必要ナル事業ヲ行  
フコトヲ得